

Interview

技術を可視化し、若手が輝く組織へ。

——資格管理のデジタル化で実現する、納得感のある評価制度。

地域のインフラを支える株式会社アクアが直面していたのは、目に見えにくい技術者の習熟度を適正に評価し、いかに若手の意欲を高めるかという課題でした。そこで舞鶴市の補助金を活用し、2名の副業人材を登用。専門知見を融合させることで、アナログだった管理体制を劇的に進化させました。

資格管理のデジタル化とデータ活用

今回のプロジェクトの中核となったのが、IT・データ管理の専門家と共に取り組んだ「資格管理システム」の構築です。社員が保有する多岐にわたる資格情報は、以前はすべて紙ベースで管理されており、把握するだけで膨大な労力を要していました。当初はExcelでの管理を想定していましたが、副業人材のアドバイスにより、より強固なデータベースである「ACCESS（アクセス）」を活用したシステムへと舵を切りました。じっくりと土台を固めたことで、全社員のスキル状況を一目で把握できる実用的なシステムが完成。現在は社内で改良を重ね、毎月の経営会議で欠かせない運用基盤として定着しています。

頑張る若手が報われる報酬体系へ

システムによる技術の可視化は、人事評価のあり方も大きく変えました。

社会保険労務士の資格を持つ専門家とも連携し、取得した資格や習熟度を客観的に評価に反映させる仕組みづくりに着手。その一環として導入した「資格取得奨励金」は、すぐに目に見える成果となって現れました。熱心に技術を磨いた若手社員が、賞与において社内トップクラスの評価を獲得するなど、年齢を問わず「頑張りが正当に評価される」文化が浸透。これが若手社員のモチベーション向上に大きく寄与しています。

ミスマッチを防ぎ人を大切に育てる文化

採用の面では、面接前の現場見学を徹底し、入社後のミスマッチを未然に防いでいます。入社後も業務内容を動画撮影した研修教材を活用。特に危険箇所での安全教育には実際の映像を用いて視覚的に啓発するなど、熟練の技を確実に伝える努力を続けています。資格取得費用の負担や合格祝い金の支給など、手厚い支援体制を整えることで、次世代のエースが着実に育つ土壌を整えています。

伝統の継承とDXによるさらなる成長

今後は「資格管理システム」のデータを活用した給与体系の精緻化など、デジタルによる組織強化を計画しています。「地域の当たり前の生活を守る」という使命を胸に、テクノロジーと人の力を融合させ、持続可能な未来を切り拓いていきます。



美しい水をつくり、
自然に還す。

PROFILE



株式会社アクア

代表取締役 池田 雅美

設立：昭和37年

本社：舞鶴市伊佐津100番地

地域の公衆衛生を守る使命感を胸に、デジタル技術による組織改革を推進。副業人材と構築した資格管理システムで透明性の高い評価制度を運用し、最新の教育手法を通じて若手が自信を持って輝ける職場づくりに挑んでいる。